

鹿屋中央高校が全国制覇！



優勝を決め喜びいっぱいの選手たち

鹿屋中央高校女子バレー部の部訓は、踏まれても踏まれても挫折しないという意味の『草魂』。選手たちは、金字で『草魂』と書かれた青色の鉢巻を巻いて試合に挑み、全国制覇という快挙を成し遂げました。



決勝戦で熱戦を繰り広げた選手たち



大勢の応援団が駆け付け、地元大阪の対戦相手に負けない声援を送りました。



8月7日に市役所を訪れ優勝を報告。上屋敷主将は「全員が一つになり、ボールを拾ってつなぐ自分たちのバレーができました」と、大会を振り返りました。

8月5日、大阪市の舞洲アリーナで開催されたインターハイ（平成18年度全国高等学校総合体育大会）のバレーボール女子決勝で、鹿屋中央高校が、大阪国際滝井高校を3・1で下し、鹿児島県勢として初めてインターハイのバレーボールで全国制覇を成し遂げました。

同校のインターハイ出場は3年連続3回目。今大会はノースードながら春の選抜大会準優勝の京都橘高校や四天王寺高校など、全国有数の強豪校を破って勝ち進み、決勝では昨年のインターハイ準優勝校の大阪国際滝井高校と対戦。5セットマッチで行われた決勝は2セット連取の後、接戦となった3セット目を逆転で奪われてしまいました。が、落胆することなく持ち前の粘り強く拾ってつなぐ全員バレーで4セット目をとり、悲願の初優勝を果たしました。

8月7日には、優勝メダルを首に掛け、優勝旗や優勝盾賞状などを持った同校の選手が鹿屋市役所を敬訪問。日本一の笑顔で優勝を報告しました。

（関連記事 P 1・P 24）